

日の出が丘

【学校教育目標】 **本気で学び 思いやりのある子**
 【重点目標】 **日々、前に進む子**



子供たちの輝く姿を見て

校長 井上 雅夫

10月4日（日）に行われましたPTA奉仕作業には、多くの保護者の皆様にご参加いただき、リレー大会の駐車場にする場所の整備や校舎内の清掃作業をしました。ありがとうございました。

子供たちは、第3ステージの「仲間と高まる」の意識をもって、本気でリレー練習に取り組んでいる様子が見受けられました。10月21日、22日のリレー大会には、多くのご家族の方に参観していただきました。1学期のフリー参観以来の参観でしたので、多くの方々から「子供たちががんばっていますね。」というお言葉をたくさんいただきとてもうれしくなりました。

2学期も2ヶ月が過ぎ、リレー大会や校外活動等を通して、それぞれの学級への所属感がさらに高まり、一人一人の役立ち感（自己有用感）も感ずる場面が増えてきています。



先日、6年生が道徳の授業で、「仲間」について、話し合いをしていました。「仲間」に対する意識は、とても大切ですが、「かけがえのない存在としての自分」を認識することも大切だと思います。ご家庭でも、自己肯定感が高まるよう、日々の努力や活動を認め、褒めていただきたいと思います。

●10/4 PTA奉仕作業、ありがとうございました！

10月4日（日）、PTA奉仕作業が行われました。今年度の奉仕作業は、コロナ禍であることを踏まえ、リレー大会のための臨時駐車場の整備を主として実施されました。当日は、臨時駐車場の雑草の伐採だけでなく、校舎内外の整備、清掃にも多くの方々にご参加いただきました。



おかげさまで、リレー大会に多くの保護者が来校し、子どもたちのがんばりに声援を送っていただくことができました。また、校舎内、校舎外の整備では、体育館や駐車場周りの雑草の伐採や、教室の窓、廊下の流しを始め汚



びかびかになった窓からのぞむ大室山は、ひときわ美しく、神々しく見えました。

れがたまっている箇所の清掃を行っていただき、清潔な教育環境で子どもたちが気持ちよく過ごすことができます。

ご参加いただいた保護者の皆様におかれましては、お忙しい中時間を割いてご尽力いただき、ありがとうございました。



●新型コロナを「正しく恐れる」

新型コロナウイルス感染症は、今なお予断を許さない状況にあります。ヨーロッパでは感染の第二波が到来しており、日本でも感染者が減少傾向にあるとは言えない状況です。

感染者が増加している地域では、感染者やその関係者への差別や誹謗中傷が問題になっています。感染症への警戒感の高まりから不安、いらいらがつのり、感染者や濃厚接触者への言葉や態度が攻撃的になってしまうそうです。これを防ぐためには、新型コロナウイルス感染症を「正しく恐れる」ことが重要になるのだそうです。感染症のことを正しく理解する→冷静になる→過敏にならず必要な対応策を行う、ということだと思います。

伊東市の感染者数は10/26現在15名、これは人口の0.02%にあたり、今のところ深刻な感染レベルではありません。新型コロナウイルスには、いつ誰が感染するか分かりません。感染レベルが低い今だからこそ、感染症対策「正しく恐れる」ことを意識して、冷静に日々の生活を送りたいと思う今日この頃です。

●消毒用アルコールをいただきました！

陸上クラブ「Runway」様より、手指消毒用アルコール（1000ml×2）を寄附していただきました。感染症対策の中で、有効に活用していきたいと思えます。

